

図書館だより



新着図書案内

今年9月29日が
中秋の名月だよ

9月8日は国際識字デー



～誰もが読み書きできる世界を目指して～

世界的な記念日としてユネスコが定めた国際識字デー。
世界の総人口のうち、約6人に1人が読み書きできない現実があります。
日本に住むわたしたちになにができるか、考える日にしてみよう。

池田高等学校 辻校 2023年 9月号

図書館クイズ



『幸福の王子』

オスカー・ワイルド【著】

ブロンズ新社

1888年に出版された、The Happy Prince and Other Tales の中の一作。

オスカー・ワイルドは、アイルランド出身の詩人、作家、劇作家。耽美的・退廃的・懐疑的だった19世紀末文学の旗手のように語られる。



9月の開館日

開館日	1日(金) 5日(火) 7日(木) 11日(月) 13日(水) 15日(金)
	19日(火) 21日(木) 25日(月) 27日(木) 29日(月)
開館時間	10:15 ~ 16:45

リクエスト募集!

希望図書をリクエストしてください!

『購入希望用紙』をお配りします。募集期間は9月13日(水)～9月27日(水)です。

辻校図書館に置いて欲しい本があれば、書名、著者名などわかる範囲で記入し、図書館前の購入希望-BOX、または司書の高松までお願いします。

リクエストをしてもらった本は、購入を前向きに検討します。

先生方もぜひご利用下さい!

たくさんのリクエストをお待ちしています♪

『はなちゃんのはやあるき はやあるき』

宇部京子(著) 菅野博子(イラスト) 岩崎書店 NDC分類 E

3月11日、90名の小さな命を救ったのは「避難訓練」でした。

「奇跡の脱出」としてニュースになった、岩手県野田村保育所をもとにした絵本。のんびりやのはなちゃんが、保育園の子どもたちが、じっさいにおきてしまった災害に立ち向かいます。じぶんでじぶんの命をまもることの大切さを伝えるお話。

『進路格差』 朝比奈 なを【著】 朝日新聞出版 NDC分類 376.4

現実と乖離した「夢追い型」が多い日本の高等教育機関(大学、短大、専門学校)は、教育困難校から進学する生徒が多く、深刻な格差拡大装置となりつつある。また、無償化は学費のみで、多額の施設費や実習費を納めるために奨学金制度を利用して卒業後も返済に苦しんでいるケースも少なくない。進学したがゆえに、貧困のループから抜け出せないという、逆効果が生じているのだ。気鋭の教育ジャーナリストが現場からレポートする。

『ダーウィン事変(1)～(5)』 うめざわしゅん【著】 講談社 NDC分類 726.1

「マンガ大賞2022」大賞、「このマンガがすごい!」2022(宝島社)オトコ編第10位、第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞など、数々の評価を得た話題作!
「テロ」「炎上」「差別」……ヒトが抱える問題に、「ヒト以外」のチャーリーが、ルーシーとともに向き合うヒューマン&ノン・ヒューマンドラマ。

『この夏の星を見る』 辻村 深月【著】 KADOKAWA NDC分類 913.6

コロナ禍による休校や緊急事態宣言、これまで誰も経験したことのない事態の中で大人たち以上に複雑な思いを抱える中高生たち。しかしコロナ禍ならではの出会いもあった。リモート会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の生徒たち。スターキャッチコンテストの次に彼らが狙うのは――。哀しき、優しき、あたたかさ。人間の感情のすべてがここにある。

『千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないままルーマニア語の小説家になった話』

済東 鉄腸【著】 左右社 NDC分類 914.6

日本どころか千葉の実家の子供部屋からもほとんど出ない引きこもりの映画オタクの下に差し込んだ一筋の光、それはルーマニア語!受験コンプレックス、鬱、クローン病。八方塞がりの苦しみから、ルーマニア語が救ってくれた。暑苦しくて切実で、好奇心みなぎるノンフィクションエッセイ。

この他にも、雑誌『Number』『アニメージュ』の最新号が入荷しています♪ ぜひ読みに来てくださいね!